

<GAP 普及大賞 2019> グランイト銀座が受賞！ 全国の認証農場の食材を集めたレストランによる GAP 認知度向上への取組が評価されました。

一般財団法人日本 GAP 協会（代表理事専務：松井俊一）は、GAP 普及大賞 2019 の選考委員会を開催し、2 つの GAP 普及の優良事例を表彰することを決定しましたので、ご報告致します。

■GAP 普及大賞受賞事例：グランイト銀座

グランイト銀座は、全国の GAP 認証農場から仕入れた農畜産物を、様々な料理にしてビュッフェスタイルで提供する魅力的なレストランです。日々多くの方が訪れるとともにメディアにも紹介され、GAP の社会的な認知度を上げることに多大な貢献をしていることが高く評価されました。

多くの消費者が「食の安全安心」、「地球環境の保全」、「持続可能な社会」に関心を持つようになってきていますが、農業生産においてこれらを実現する GAP（農業生産工程管理、Good Agricultural Practice）について知っている方はまだ多くはありません。

グランイト銀座は、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の農産物および畜産物の調達基準ともなっている GAP 認証（ASIAGAP、JGAP、GLOBALG.A.P.、調達基準を満たす都道府県等の GAP）農場の食材を使用して、様々な料理をビュッフェスタイルで提供する、日本で初めてのレストランです。提供する料理の 9 割以上で GAP 認証農場の食材が使われており、店内には GAP 認証農場の紹介や食材の説明などが自然と目に入るように工夫されていることから、料理を楽しみながら GAP について知ることができます。これらの取組・評判は多くのメディアにも取り上げられ、GAP の社会的な認知度を高めています。

都市にあるレストランで料理の提供を通じた GAP の普及という、これまでに見られなかった取組が、GAP 普及大賞にふさわしいものと高く評価されました。

GAP 普及大賞は、一般財団法人日本 GAP 協会が主催する、今年一年間で最も GAP の普及に貢献した取り組み事例を表彰するものです。GAP 普及大賞 2019 の選考委員は次の通りです。

岩元明久（日本農業普及学会 副会長）、小池 甲（新潟県農林水産部農産園芸課生産環境係 主査）、田口光弘（農研機構中央農業研究センター農業経営研究領域 上級研究員）

また、同時に「北海道中標津農業高等学校」も GAP 普及大賞を受賞しました。いずれも甲乙付け難い GAP 普及の優良事例です。以上の 2 受賞事例について、下記のシンポジウム内で表彰式と受賞者による記念講演が行われます。ぜひご来場下さい。

■シンポジウム「GAP Japan 2019」

- ・日時：2019年10月9日（水） 13時から17時30分
- ・場所：東京大学 弥生講堂（東京都文京区弥生 1-1-1）
- ・関連ホームページ：<https://2019.jgap.asia/> ※参加申込を受付中です
- ・問合せ先：荻野（おぎの）TEL 03-5215-1112 FAX 03-5215-1113 E-mail: info@jgap.jp